

哀あい王わう冲ちゆう、字ハ倉きう舒じよ、少わかクシテ 聡さう察さつ岐き嶷ぎふくタリ。

時ニ 軍国多事ニシテ、用フルコト 刑ヲ 嚴重ナリ。

太たい祖そ馬ば鞍あん在リテ庫ニ、而ニ為ル鼠ねずみノ所ト齧かじル。

庫吏おそレ 懼ニ 必ズ 死センコトヲ、

議シテ 欲スルモ 面縛シ、首まうサント 罪ヲ、猶ホ 懼ル 不ル 免レ。

沖謂^{ヒテ}曰^{ハク}、「待^チ三日^ノ中^ヲ、然後^ル自^ラ歸^{セヨト}。」

沖於^{イテ}是以^ニ刀^ヲ穿^{ウガチ}单衣^ヲ、如^{クシ}鼠齧^ル者^ノ、

謬^{いつはりテ}為^シ失意^ヲ、貌^{かほニ}有^リ愁色^一。

太祖問^{フニ}之^{レヲ}、沖对^{ヘテ}曰^{ハク}、

「世俗以^テ為^ス鼠齧^ル衣^ヲ者^ハ、其主不^{ナリト}吉^一。」

今单衣見齧、是以憂戚。」

太祖对曰、「此妄言耳。」

無所苦也。」

俄而庫吏以齧鞍聞。

太祖笑曰、

「兒衣在^{リテスラ}側、尚^ホ齧^{ラル}、況^{ンヤ}鞍^ノ懸^{ケタルヲ}柱^ニ乎^{ヤト}。」

一^モ無^シ所^レ問^フ。

沖、仁愛識達、皆此類也。

凡^ソ、^{クシニテ}愆^ニ罪^{さい}戮^{りく}、而^リ為^リ三^ノ冲^ノ微^{ひそか}、所^ト二^ニ弁^{スル}理^ニ、

頼^{リテ}以^テ濟^{さい}宥^{いう}、^{セラレシ}者^者、前^前後^後数^数十^{ナリ}。

太^太祖^祖数^{しばしば}、对^{シテ}二^ニ群^群臣^臣、称^シ述^ス、有^リ二^ニ欲^{スル}レ、伝^{ヘント}レ、後^後意^意。

年^年十^十三^{ニシテ}、疾^{やまひ}病^{へい}、太^太祖^祖親^{みづから}、為^ニレ、請^フ命^ヲ。

及^{ヒテ}レ、^{ズルニかなシムコト}亡^亡、哀^甚、^{ぶんてい}文^文帝^帝寬^{スルニ}三^ニ諭^諭、太^太祖^祖、

太^太祖^祖曰^{ハク}、「此^レ我^我之^之不^不幸^{ナルモなんぢら}、汝^汝曹^曹之^之幸^幸也^ト。」